

常葉だより

学校法人常葉大学
 常葉大学・大学院
 常葉大学短期大学部
 常葉大学附属常葉中学校・高等学校
 常葉大学附属橋中学校・高等学校
 常葉大学附属菊川中学校・高等学校
 常葉大学教育学部附属橋小学校
 幼保連携型認定こども園常葉大学附属とこは幼稚園
 幼保連携型認定こども園常葉大学附属たちばな幼稚園
 常葉大学リハビリテーション病院

第250号

速報!

常葉大学浜松新キャンパス 令和10年誕生へ (詳細はp.12)



●作業療法学科
 1年生・2年生合
 同での事前実習
 を終えて



●理学療法学科 令和6年度卒業研究発表会を終えて

目次

- 2~3 特集 保健医療学部
- 4~5 常葉大学
常葉大学短期大学部
- 6 常葉中高・リハビリ病院
- 7 橋中高
- 8 菊川中高
がんばる卒業生
- 9 橋小
令和6年常葉重大ニュース
- 10 とこは幼稚園
たちばな幼稚園
- 11 よろこびの入賞・入選
より高きを目指して
秋の叙勲
- 12 とこはインフォメーション



常葉大学
保健医療学部長
矢澤 生

「より高きを 目指して」への 回帰

少人数だが社会が必要とする、医療などの国家資格を目標とする学部では、多数を対象とする学部とは異なり、その教育の内容や国家試験合格率が運営における具体的な数値目標になります。このような分野の基本戦略は「質を伴う少人数の教育」であり、これこそが常葉大学の建学の精神である「より高きを目指して」の原点に合致します。浜松キャンパスのある浜松市では複数の医療系の大学が共存し、この戦略を明確にしなければ2040年の常葉大学の未来は見えてきません。

そこで保健医療学部では、現状に満足せず、より高いレベルまで引き上げる工夫した教育を実施することを目指します。その実現に向けて、私は特長ある教員が重要であると考えます。学生に信頼され、研究費を獲得しながら研究を実施し、そして大学運営(協働)を意識できる教員こそ、私は常葉大学の財産であると考えます。この難しいディケードにあって、私はこのような教員に出会い、そして彼らに常葉大学の将来を託すことができるかと確信しています。

2024年2月17日、我が国の期待を集めて、JAXAはH3ロケット試験機2号機を打ち上げました。そして、前回は打ち上げられなかった日本のH3ロケットの打ち上げが見事に成功しました。少子高齢化の時代、我が国の科学研究成果の凋落傾向が指摘されることは対照的に、日本の科学の力を示した象徴的な出来事でした。

我が国では少子化に伴い、大学における運営は年々厳しさを増し、特に科学や医学といった分野における大学の運営は差別化が進んでいるように感じます。少子化の日本において高校生の志願者が減り、多数の大学が難なく運営できた時代が終了し、大学淘汰の時代にはいったと考えても良いでしょう。従来までの大学の基本戦略だけではなく新たな戦略が必要であり、また、一つの戦略だけでなく各々の学部の特徴に応じた戦略を立てる必要があります。私の所属する保健医療学部でも新しい戦略が必要です。

さて、大学は university の名称の通り、多彩な学部を備える総合大学であることが、地域の大学としての知名度やブランディングを上げ、その在り方が今後の生き残りを左右すると考えます。

Beyond the

Limits

地域のリハビリテーションを支える 理学療法士・作業療法士を育成します

本学部の使命は知識と技術に優れ、優しさとおたたかさのある理学療法士・作業療法士の育成です。常葉大学リハビリテーション病院と連携した厚みのある学びで実践力と対応力を養います。

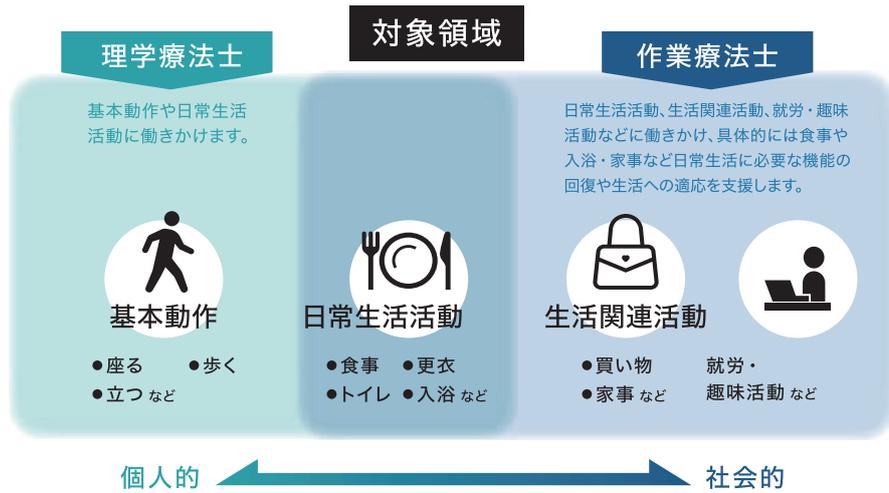


ICTを活用した

個別最適化教育の導入

右記、5つのアプローチをクラウドシステムの導入・活用により実施し、教育の質的向上を目指します。

- ①フレッシュアップセミナー
- ②学修の可視化
- ③学修到達度の確認
- ④個々の学生に合ったフィードバック
- ⑤個別最適化された臨床実習の展開



チーム医療の学び

理学療法学科における学びの3領域

運動器系障害
事故やスポーツに伴う障がいからの回復・復帰をサポート

事故やスポーツに伴う障がい、加齢による関節の障がいなどに対し、身体の動きや状態を正確に把握することで運動機能の回復・維持を図ります。

- 骨折 ●変形性関節症 ●スポーツ外傷 など

神経系障害
神経難病による手足の麻痺などから社会復帰をサポート

脳卒中などの疾患をはじめ、神経難病により手足の麻痺などが生じた方々に対して、機能回復を図るとともに、生活のサポートも見据えて対応します。

- 脳卒中 ●パーキンソン病 ●神経難病 など

内部障害
生活習慣病の改善をサポート

メタボリックシンドロームのように、生活習慣が原因となる健康障害が増えています。その予防をはじめとして、健康を維持し障がいや介護状態を軽減できるようにサポートします。

- 心不全 ●糖尿病 ●生活習慣病 など

作業療法学科における学びの4領域

身体障害
病気や事故の後遺障害などからの回復、社会復帰に向けて

病気や事故によって、生活に支援を必要とする方に対し、回復に向けた治療、生活に必要な能力を開発する技術、自立生活を援助する技術を学びます。

- 脳卒中 ●神経難病 ●事故の後遺障害 など

発達障害
障がいをもつ子どもたちの健やかな成長に向けて

脳性麻痺や、自閉スペクトラム症など運動やこころの発達を支える必要がある子どもたちもいます。子どもたちと保護者に寄り添い、健やかな成長をサポートする方法を学びます。

- 脳性麻痺 ●自閉スペクトラム症 など
- 知的障害

精神障害
就労支援、社会参加に向けて

こころの病気を学び、精神の障がいとその回復の要因を理解します。精神に障がいのある方が、就労・社会参加するために必要な知識や技術を学びます。

- 統合失調症 ●気分障害 ●アルコール依存症 など

高齢期障害
寝たきり、骨折、認知症など高齢者が抱える障がいの軽減に向けて

高齢期に多い疾患や心身機能の低下によって生活に障がいをきたした高齢者を対象とし、心身機能と生活機能の維持・向上、余暇活動の開発をサポートする方法を学びます。

- 認知症 ●加齢による障がい など
- 脳卒中



保健医療学部

常葉大学3つの教育理念の実現に向けた教育活動

理学療法学科

両学科による連携活動

作業療法学科

知徳兼備



臨床実習に向け、リスクに配慮しながら対象症例の最大限の自立を支援するため、学んだ知識の体現に努めています。



4年次の国家試験対策は、グループによる調べ学習、教員による個別指導など、学生個人の特性に配慮して行われています。



1、2年次では、「作業」がもつ治療的特性について、実際の体験を通して分析する演習が行われています。

未来志向



卒業研究は、遺伝子レベルから身体活動レベルまで、学生自らが設定した研究計画に基づく課題を探索しています。



毎年10月末に行われる卒業研究発表会は、トコハホールにて学会発表と同じスタイルで実施されています。



旅に関する卒業研究では、フィールドワークを実施し、高齢者の観光状況について調査しました。

地域貢献



「浜松市との連携講座」を通じて、大学で得た知識と技術を、地域の皆さんの健康増進活動に役立てています。



障がい者スポーツサークルの活動を通して、地域の方々とパラスポーツ体験などで交流し、生涯学習の促進・普及に貢献しています。



小児の作業療法で学んだ活動を、地域の子どもたちが楽しめるように計画し、実践しています。



常葉大学短期大学部 常葉大学

静岡草薙・瀬名キャンパス

第7回心薙祭(大学祭)開催!!

11月2日から3日にかけて、常葉大学静岡草薙キャンパスにて、第7回心薙祭が開催されました。今回のテーマ「INO SMILE NO FESTIVAL ～みんなで楽しむしかないら!～」には、心薙祭に関わる全ての人々に笑顔になってもらいたいという想いが込められており、チャレンジ精神あふれるテーマを掲げました。今年も大規模開催となった昨年同様の規模で実施することができ、雨天にもかかわらず多くの方々に参加いただき、たくさんの方々の笑顔に溢れた2日間となりました。

第8回心薙祭もご期待ください!!



短期大学部 音楽科

航空自衛隊航空中央音楽隊とのジョイントコンサート

11月28日、日本を代表する最高峰の音楽隊である航空自衛隊航空中央音楽隊と常葉大学短期大学部音楽科ウインド・オーケストラのジョイントコンサートが、静岡音楽館AOIにて開催されました。演奏会は三部制で、各単独ステージの後、合同演奏が行われました。学生たちは、音楽隊の皆様の高い技や表現力、エネルギーに必死に食らいつき、生涯忘れられない素晴らしい経験を積むことができました。また演奏会前日にも本学で一緒に練習ができ、多くの交流をすることができました。演奏会は満席御礼公演となりました。音楽科の卒業生には、航空自衛隊音楽隊や陸上自衛隊音楽隊で活躍する者もあり、学生の憧れの進路の一つともなっています。将来への夢を拡げる時間となりました。ご来場賜りました皆様にご心より感謝申し上げます。



経営学部

常葉大学ウェビナー(オンラインセミナー)の取り組み



11月12日に第6回常葉大学ウェビナーを開催しました。経営学部では2022年から学外のゲストをお招きし、お話を聞きしたり、議論したりするオンラインウェビナーに取り組んでいます。講師は自治体関係者、企業経営者、国際機関に勤務している方や兼業のミュージシャンなど多岐にわたっています。聴衆も常葉大生だけでなく一般の方々にも広く参加いただいています。今後も引き続き、大学の枠では出会えない人々と常葉大学のコミュニティとの繋がりを広げる取り組みを行ってまいります。

短期大学部 保育科

親子向け表現ワークショップを行いました

11月23日、藤枝市の了善寺にて表現ワークショップを行い、保育科講師・木下藍先生と非常勤講師・花岡清美先生、ボランティア学生と共に17名の親子が参加しました。参加者はお寺でトーンチャイムやカリンバといった楽器の静かな音に耳を傾け、心を落ち着かせた後、日本画の棒絵具を使って思い思いに絵を描くことを楽しみました。



静岡草薙キャンパス

「ふじはMIRACLE」第1号が誕生

10月30日、「MIRACLE」アクションプラン・未来を担う社会人基礎力養成プログラム」として、田村夏海さん(短大日文・2年)に、「ふじはMIRACLE」第1号の称号を授与しました。



常葉大学



静岡水落キャンパス 第6回水落祭「水天一碧」開催

10月27日、常葉大学静岡水落キャンパスにて、第6回水落祭を開催いたしました。本年度のテーマである「水天一碧」とは、海と空が溶け込んで一色の深い青色のように見える景色を形容する言葉です。遠く離れていて決して交じり合うとは思えない二者でも一つになれる可能性を示すこの言葉に、皆で協力して水落祭を成功させるという想いを込めました。ステージではお笑い芸人ライブ、有志団体によるライブ、ビッグ大会、スタンブラリーのTHE BOSSのライブを行いました。また、クラブ・サークルの協力を仰いでの校内展示を企画しました。「水天一碧」のとおり、実行委員、協力団体、学生、教職員、地域の方々为一体となり、静岡水落キャンパスらしい大学祭を創りあげることができました。

静岡水落キャンパス 静岡水落キャンパスに屋上テラスが誕生



静岡水落キャンパスの屋上に、テーブルやイス、パロンルを設置しました。周囲には観葉植物も配置し、見晴らしが良く、とても開放的な空間ができました。屋外で過ごしやすい季節になり、昼食や勉強の気分転換に利用している学生たちの姿がみられます。今後、学生や教職員がより快適に過ごせる環境づくりに努めていきます。

浜松キャンパス

浜松市「青少年の表彰」で善行賞を受賞

浜松市「青少年の表彰」の表彰式が12月5日に浜松市役所で行われ、個人の部で清水奎成さん（保健医療学部 理学療法学科3年生）、団体の部で地域貢献サークルCOCOAが善行賞を受賞しました。

清水さんは高校3年生から現在まで、理学療法士を目指す中で学んだストレッチを小学生への野球指導に取り入れ、ケガ予防・早期復帰へのサポートをしています。

地域貢献サークルCOCOAは設立以来10年間、経営学部での学びを活かし地域活性化の一助となることを目的にボランティア活動を続けている団体です。

地元商工会と連携し、地域を盛り上げる企画や新商品の開発などを実施しています。個人・団体ともに、地域の文化活動や奉仕活動に積極的に取り組んでいられることが賞賛されました。



健康栄養学科 学生が考案したメニューが 浜名湖サービスエリアで販売決定



第78回全国お茶まつり（浜松市開催）の応援企画として「お茶を使った創作メニューコンテスト」が開催され、堀川耀生さん、赤堀光さん（健康プロデュース学部健康栄養学科2年）の作った「茶ル茶ルソースのチキン南蛮丼」がグランプリを獲得しました。このチキン南蛮丼は、茶葉を入れて炊いた茶飯に粉末茶を使ったタルタルソースがかかっている、お茶の美味しさが伝わる一品です。令和7年3月末まで販売されます。

健康鍼灸学科

しまだ大井川マラソンでのランナーケア体験活動を行いました

10月27日「第16回しまだ大井川マラソン」にて、健康プロデュース学部健康鍼灸学科の学生と教員が「刺さない鍼」によるランナーケア体験の活動を行いました。150名以上の市民ランナーがレース後にケアを体験して、血流が促進され、痛みが和らぐ効果を体感しました。学生にとっては、実践的な学びの場となるとともに、地域社会への貢献にも繋がりました。





常葉大学附属常葉中学校・高等学校

常葉中学・高校

体育祭



10月25日、草薙体育館のはなアリーナに於いて体育祭が行われました。玉入れ、長縄跳び、ドリブルシュートリレーなどの種目を実施しました。また、中学と高校が協力して競技する集団対抗リレーは大盛り上がりでした。教職員もリレーに参加し、「常葉中学・高校」が一体となりました。生徒数が少なくてもこれぞ常葉、これぞ女子高ならではの、体育祭になりました。また今年度は木宮校長からの提案で、閉会式後に全校での記念撮影も行われました。学年、クラスの垣根を超えた、一つに纏まった、とても素晴らしい、体育祭になりました。



常葉中学・高校

芸術祭



9月13日、文化部の発表の場である「芸術祭」が静岡市民文化会館中ホールで実施されました。文化部の生徒達は、この発表に向けて長い期間をかけて準備や練習に励んでいました。当日は、演じることに一生懸命なキラキラと輝く生徒達の表情を見ることができました。また、鑑賞している生徒も大盛り上がりで女子のパワーを再確認することができる「芸術祭」になりました。



常葉中学・高校 電子黒板導入

7月24日、常葉中高に電子黒板が導入されました。2学期の授業から活用し始め、生徒のiPadと相まって従来の授業よりも内容を深めることができます。研修会を定期的に行い、今後よりよい授業ができるようにしていきます。また、学校説明会でも使用していますが、参加者の評判も上々です。



常葉中学

野外活動



10月8日～9日に、朝霧野外活動センターにおいて野外活動を実施しました。センター内の体育館で様々なレクリエーションや、炊事場で野外炊飯を行い、学年の垣根を越えて親睦を深めることができました。慣れない火起こしや調理作業を生徒同士で話し合い、適材適所で臨機応変に動き、美味しいカレーライスやハヤシライスをつくることができました。雨の野外活動でしたが、楽しい2日間になりました。

リハビリ病院 病院受付

常葉大学リハビリテーション病院



医療事務職員が来院受付業務を担当しています。受付は患者様、ご家族様が病院で初めて出会う病院スタッフです。病院の「顔」としてわかりやすく丁寧な対応を心がけています。
令和6年12月2日以降は健康保険証が発行されなくなります。医療機関・薬局に行かれる際には、マイナ保険証をぜひご利用ください。
※写真撮影のため一時的にマスクを外しています。

常葉大学附属橘中学校・高等学校



橘高校 英数科 修学旅行



11月5日～9日、台湾・台北市へ修学旅行に行ってきました。二日目の午前は、稲江護家職業学校を訪問し、台湾の高校生たちと、ハンドクリームやキーホルダーを作ったりゲームをしたりして交流しました。午後は十分と九份に行き、台湾の情緒ある風景を楽しみました。三日目は、世界各地から台湾にきている留学生たちと一緒に台北を観光しました。四日目は、市内の別荘研修を行いました。ガイドも留学生もいなくて不安でしたが、台湾にもだいぶ慣れてきて、自分たちだけでしっかり行動できました。

異国に行き、「外国人」としてさまざまな経験をし、言葉の違いを乗り越え、海外に友人を作り、台湾と日本両国を見つめ直せた五日間でした。

橘中学 修学旅行

9月24日から3泊4日で中学修学旅行が行われました。今年度は自分たちで決めたルールを守り、広島・大阪・京都と盛りだくさんの4日間を過ごすことができました。事前学習では被爆伝承講話を聴き、戦争の悲惨さを学んだり、京都の歴史ある建築物についても調べたりすることで、より有意義なものにすることができました。

また、しおりや会計報告などすべてiPadを使用したことで、橘中学ならではの修学旅行にすることができ、一生忘れられない経験になりました。



橘中学 体育祭



大きな盛り上がりを見せました。一貫コースの高校1・2年生も中学体育祭の応援に駆け付け、一貫校ならではの体育祭となりました。

11月1日、本校人工芝グラウンドで中学体育祭が行われました。3年生を中心に、橘中学生全員が一致団結し、素晴らしい体育祭を生徒たちで作りました。特に、橘中学校らしさに溢れた「応援合戦」では、

橘中学・高校 芸術鑑賞会



11月27日に静岡市民文化会館にて芸術鑑賞会が行われました。今年度は伝統芸能鑑賞「和太鼓集団「志多ら」」さんをお招きしました。自然の雄大さを感じる庄巻の演奏。途中、志多らのメンバーの皆さんと本校生徒・教員が一緒に演奏させていただきました。お祭りさながらに和楽器の音色に合わせ踊ったり、大盛り上がりの中、幕を閉じました。普段なかなか触れることのできない日本の音色を全身で感じる機会となりました。

橘中学 国際交流企画 「レイブンズ来校」



10月4日、橘中学にオーストラリア女子サッカーチーム「レイブンズ」が来校し、国際交流行事を行いました。同年代の学生と日本文化を通して交流し、レクリエーションなどで親睦を深めました。レイブンズの選手たちは本校生徒にレクチャーを受けながら、実際に茶道と剣道を体験しました。昼食時には、共通の競技の話題で盛り上がるなど、英語でのコミュニケーションを楽しむ姿が見られました。



常葉大学附属菊川中学校・高等学校

菊川高校

美術・デザイン科研修旅行



12月16日～12月23日に、美術・デザイン科の2年生32名が、フランスのパリに研修旅行に行ってきました。今年の夏、オリンピックに燃えたパリですが、明治以来多くの日本人が絵や彫刻を学ぶためにここを訪れたことはよく知られています。生徒たちが、ルーブル美術館、オルセー美術館、ベルサイユ宮殿と、「本物の美術品、西洋建築を目の当たりにしたことは、必ず今後活かされることでしょう。」

菊川中学

修学旅行



11月5日から8日まで、中学3年生が九州へ修学旅行に行きました。天候に恵まれ、秋晴れのもと、佐賀、長崎、熊本、福岡と巡りました。2日目は風が強く海上の波が荒れており、予定していた軍艦島の上陸が危がまれる中での出航でしたが、奇跡的にそれも叶い、貴重な機会を得られました。ハウステンボスや長崎市内の班別研修、吉野ヶ里遺跡、熊本城、太宰府天満宮での見学などを通して、九州の歴史文化に触れ、見聞を広めました。とりわけ被爆地長崎では、戦争の悲惨さや命の尊さを心深く刻みました。研修各地で、菊川市の観光大使として菊川茶のPR活動も行いました。本日に多くの貴重な経験をすることのできた4日間となりました。

菊川高校

美術・デザイン科修学旅行



10月15日から19日の4泊5日で倉敷、直島、豊島方面へ修学旅行に行ってきました。多くの美術館を巡り、美術館の形態もいわゆる絵画作品の油画や彫刻作品、光を使ったインスタレーション作品、空間自体が美術館という芸術作品など、様々な形の芸術に触れることのできた修学旅行でした。芸術の幅広さを感ずることのできる旅行となり、これからの制作活動に活かしていけるものとなりました。

菊川高校

普通科修学旅行



12月16日から19日の日程で普通科2年生が沖繩本島への修学旅行を実施しました。期間中、天候にも恵まれ、内地(日本列島)とは違う暖かな気候の中、平和学習やクラスアクティビティに参加し、座学だけでは得られない知識や沖繩ならではの知見を深めることができました。特に二日目は半袖で過ごすこともできる陽射し燦々の中、各クラスが沖繩の自然を満喫できました。移動も含めた4日間の中に、沖繩のあれこれが詰まった日程で、もっと滞在したかった生徒も多かったようです。この貴重な体験をさせてくださった保護者や関係者に感謝して、これからの学校生活にも活かしていきます。

がんばる卒業生

常葉学園菊川中学校
平成27年度(11期生)卒業
常葉大学附属菊川高等学校
平成30年度(45期生)卒業

宮崎 愛瑠 さん

札幌テレビ放送(日本テレビ系列) 勤務



現在の仕事・やりがい

北海道のテレビ局でアナウンサーをしています。現在は夕方のワイド番組「どさんこワイド179」を担当しています。また、大きな事件や事故が起きたときは、カメラクルーやディレクターと共に中継にかけつけます。北海道は本当に広いので、場合によっては自社の報道ヘリコプターで駆けつけることもあります。他にもイベントMCなどを担当しています。北海道ならではのイベント「さっぽろ雪まつり」のMCを担当したときは、大きな雪像の前に胸が熱くなりました！ ありがたいことに、札幌テレビ放送は視聴率が道内1位で、北海道で一番見られているテレビ局です。街中でかけていただく「いつもテレビ見ってます」という言葉には励まされます。たくさんの方に見ていただいているからこそ、どうしても必要な情報が必要な人に伝わるのか、日々悩みながら放送をしています。

在学中の思い出

中学生・高校生のときはまさか自分がアナウンサーになるとは思ってもいませんでした。今、将来の夢や目標がない人でも、なにがきっかけで将来の目標を持つかわかりません。だからこそ少しでも興味があることには飛び込んでみてください。さかのぼってみると、高校時代に文化祭のMCを担当したことも、今の職業を目指すきっかけになっていたのかも……。

今後の抱負

アナウンサーという職業は、ただニュースを読んでいるだけに見えるかもしれませんが、あの原稿の中には、皆さんの生活がより豊かで幸せなものになってほしいというテレビ局の切実な願いがこもっています。事故のニュースであれば、同じような事故は起こらないでほしい。バラエティーを見て笑顔になってほしい！ などなど……“オワコン”だと呼ばれるテレビ局なりに皆さんの幸せを願っています。あのテレビ画面の奥には、何百人ものテレビ局の大人たちが動いていて、その全員が「1人でも幸せになれば……！」と願っているんです。誰にも“オワコン”なんて呼ばせません！ (笑)

後輩へのメッセージ

長くなりましたが……これを読んでいる方の中に、アナウンサーという職業を目指している人がいるのかどうか分かりませんが、テレビ局の仕事に興味が出てきた方や、アナウンサーの道を目指したいという方といつの日か一緒に仕事ができたら嬉しいです！

常葉大学教育学部附属橘小学校



橘小 第41回オーケストラ学習発表会

12月10日に清水マリナート大ホールにて、第41回オーケストラ学習発表会を開催しました。オーケストラ学習は、橘小学校の特色ある教育の一つとして、どの児童も力を入れての授業です。そしてこの発表会は、それぞれの学年が、1年間のオーケストラ学習の成果を發揮する場です。今年もたくさんの観客の方の前で、どの学年も堂々と演奏することができました。発表会の最後には、六年生のオーケストラ伴奏で全校合唱を発表し、「静岡のうたメドレー」を歌いました。こともたちの歌声が響く、素敵な時間となりました。



橘小 運動会

11月2日に、橘ふれあいまつりを開催しました。PTA役員の皆様、ふれあいまつり実行委員の保護者の皆様、後援会サポーターの皆様、ボランティアの皆様のご協力で、今年も児童たちがおもしろく楽しめる時間となりました。6年生が下級生を楽しませるために、ゲームコーナーを企画、運営し、お茶クラブはお点前を披露しておもてなしをしました。みんなが笑顔になる一日になりました。

橘小 橘ふれあいまつり



10月19日に橘小学校運動場にて、運動会を実施しました。全学年で個人走、一、三、五年生は競技種目、二、四、六年生は演技種目を行いました。たくさんの保護者の方が温かい声援を送ってください、これまでの練習の成果を出しきることができました。自分の種目はもちろん、他学年の種目にも全力でエールを送る児童たちの姿が輝いていた一日でした。



常葉大学学長及び短期大学学長に安武氏

学校法人常葉大学は、令和6年12月14日に開催した本年度第4回理事会で、江藤秀一学長が令和7年3月31日をもって任期満了となることから、大学及び短期大学の新学長として、造形学部教授／学長特命補佐の安武伸朗（やすたけ・のぶお）氏を選任しました。任期は、規定により令和7年4月から令和11年3月までの4年間です。

常葉大学学長及び短期大学学長に安武氏

令和6年 常葉重大ニュース

- 1 常葉大学浜松キャンパスの移転発表**
(令和10年4月開設予定)

**5 常葉大学短期大学部音楽科
令和8年度からの募集停止決定**
- 2 寄附行為の変更認可申請が認可される**
(私立学校法の改正に伴う変更)

常葉大学健康プロデュース学部
こども健康学科を保育健康学科に
心身マネジメント学科を
スポーツ健康科学科に名称変更を届出

6 運動活動の活躍

 - ・常葉大学 新体操部、剣道部、サッカー部、エアロビック部、陸上競技部
 - ・橘中高 少林寺拳法部
 - ・菊川中高 ダンス部、空手道部、馬術
- 3 菊川中学校・高等学校校長に
加藤伸司氏が就任**

7 文化活動の活躍

 - ・常葉中高 クエストカップ、作文コンクール
 - ・橘中高 短歌
 - ・菊川中高 書道部、美術・デザイン科



幼保連携型認定こども園 常葉大学附属とこは幼稚園

とこは幼

うんとこしょ
どっこいしょ



「おおきなかぶ」のお話が大好きなこども達。自分達のカブを育てる為、みんなでカブの種を蒔きました。蒔いた種に土をかぶせて、水をあげ、じっとプランターを見つめることも。しばらく見た後に「先生、まだカブ出てこないね...」「何でカブ、まだできないの?」と可愛い質問が出てきました。翌日、カブを抜いて遊

べるように画用紙を使ったカブを用意したところ「うんとこしょどっこいしょ」と掛け声とともに何度も繰り返しカブを抜いて遊び始めました。蒔いた種が発芽し、葉っぱが増えていく様子も日々楽しく見て、こども達は「おおきなおおきな カブになれ〜」と声を掛けています。



幼保連携型認定こども園 常葉大学附属たちばな幼稚園

たちばな幼

わくわくの
生活発表会



11月8日、12日、13日の3日間に分かれて、三、四、五歳児の生活発表会がありました。こどもたちがクラスで楽しんでいたり、やってみたいことを披露しました。五歳児は「ニクラスでやりた〜い」という、たちばな幼稚園歴史上初のアイディアが生まれ、チャレンジする事になりました。脚本や衣装、道具など全てこどもたちの手で作り上げ、思いの詰

まった楽しい発表会になりました。練習では、他学年のこどもがお客さんとして見に来てくれて、発表会に期待感を高めていたこどもたち。本番は緊張で練習通りにできなかった子もいるかもしれませんが、本番を迎えるまでの過程で、友だちに自分の思いを伝えたり、意見を尊重したりなど、こどもたちの成長が感じられました。



速報! 常葉大学浜松新キャンパス 令和10年誕生へ



(浜松キャンパス校舎完成予想図)

学校法人常葉大学は、令和7年1月8日に浜松市と常葉大学浜松キャンパス用地の売買契約を完了しました。昨年9月に設計・施工事業者として㈱大林組を選定し、10月から校舎建築に向けた設計業務を進めているところです。

現在の浜松キャンパスにある3学部・大学院1研究科の教育研究環境の充実を図り、令和10年4月の新キャンパス開設を目指して移転の準備を進めていきます。

なお、同時期に保健医療学部作業療法学科は静岡水落キャンパスに、大学院健康科学研究科臨床心理学専攻は静岡草薙キャンパスに、臨床心理教育実践センターは静岡瀬名キャンパスに移転する予定です。

ここはインフォメーション

所属	名称	出願期間	試験日	特記事項
常葉大・短大部	総合能力入試(自己アピール型)	2/3(月)～2/19(水)	3/4(火)	
	共通テスト利用入試(後期日程)	2/3(月)～2/19(水)	3/4(火)実技試験(個別試験なし)	※大学:造形実技のみ(静岡草薙キャンパスで実施) ※短大:音楽実技のみ(静岡草薙キャンパスで実施)
	社会人入試Ⅱ期・帰国生入試Ⅱ期	2/3(月)～2/19(水)	3/4(火)	※短大は社会人入試Ⅱ期のみ

*** 詳細は各校HPをご覧ください (Web申し込みが必要です)。**

所属	イベント名称	開催日	特記事項
常葉大・短大部	2025オープンキャンパス	3/8(土)	詳細は「トコナビ」をご確認ください。 https://info.tokoha-u.ac.jp
	第34回常葉大学短期大学部音楽科定期演奏会	R6.12/19(木) 18:30	静岡音楽館AOI
	第15回常葉大学短期大学部音楽科 ウインド・オーケストラ定期演奏会 東部公演	2/2(日) 13:45	長泉町文化センターベルフォーレ
	第15回常葉大学短期大学部音楽科 ウインド・オーケストラ定期演奏会 中部公演	2/6(木) 18:30	静岡音楽館AOI
	専攻別演奏会(ピアノ・弦楽器・作編曲・声楽)	2/13(木) 18:30	
	第56回音楽科卒業演奏会	3/5(水) 18:30	
	第54回専攻修了演奏会	3/6(木) 18:30	
常葉中・高	小学校5年生以下対象学校説明会	3/15(土)9:30～11:30	常葉中学校 学校紹介・在校生による探究学習の発表・授業体験
橘中・高	小学校5年生以下対象・学校説明会	3/8(土)9:30～12:00	橘中学校 学校紹介 施設見学
菊川中・高	小学校5年生以下対象説明会	3/8(土)9:00～11:00	本校学生館講堂 全体会
橘小	個別学校見学会 [1日5組限定]	1月21日(火)～24日(金) 10:00～11:30	橘小学校 授業参観・校内見学・学校紹介
	第2回年中・年少児対象学校説明会	2月15日(土)10:00～12:00	



早くも令和8年度入試に向けての附属小・中学校の説明会が予定されています。

*** 詳細は各校HPをご覧ください (Web申し込みが必要です)。**

<p>橘小</p> <p>年中年少児対象学校説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業参観 ● 校内見学 ● 学校紹介 <p>駐車場あり</p>	<p>常葉中</p> <p>学校説明会(小学5年生以下対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校紹介 ● 探究学習の発表 ● 授業体験 ● 個別相談 	<p>橘中</p> <p>学校説明会(小学校5年生以下対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校紹介 ● 施設見学 	<p>菊川中</p> <p>学校説明会(小学校4・5年生対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育内容紹介 ● 個別相談など
---	--	---	--

園児募集情報 はこちらから ▶

ここは幼稚園

たちばな幼稚園